



サービスサビリティの設定

システムおよびコール動作の監視に役立つ多様な測定情報を利用できます。アラーム、測定、およびデバッグの情報を表示するには、この章の次のトピックを参照してください。

- [アラーム情報の表示 \(P.4-2\)](#)
- [測定情報の表示 \(P.4-4\)](#)
- [ログレベルの設定 \(P.4-7\)](#)
- [Cisco MobilityManager サービスのステータスの表示 \(P.4-8\)](#)

アラーム情報の表示

Cisco MobilityManager Alarm ウィンドウには、システムによって検出された注目すべきイベントの情報がリストされます。アラームは、エラー状態が発生したときに設定され、エラーが修正されるとクリアされます。

アラーム情報を検索および表示するには、次の手順を実行します。

手順

ステップ 1 Serviceability > Alarm を選択します。

Find and List Cisco MobilityManager Alarms ウィンドウが開きます。

ステップ 2 ドロップダウン リスト ボックスから、検索するカテゴリを選択します。次のカテゴリがあります。

- alarmcategory
- alarmcomponent
- severity
- date

ステップ 3 ドロップダウン リスト ボックスから、次のいずれかの基準を選択します。

- begins with
- contains
- ends with
- is exactly
- is empty
- is not empty

ステップ 4 必要に応じて検索テキストを入力し、**Find** をクリックします。1 ページあたりの表示項目数を指定することもできます。

すべてのアラームを検索するには、検索テキストを入力せずに **Find** をクリックします。

要求したアラームがウィンドウに表示されます。

ステップ 5 1 ページあたりに表示されるアラーム レコード数を変更するには、Row per Page ドロップダウン リスト ボックスから数字を選択します。

表 4-1 に、アラームの表示の各列にあるアラーム情報を示します。アラームは日付でソートされ、最新のアラームが先頭にリストされます。

表 4-1 アラーム情報

カテゴリ	説明
Alarm category	アラームのタイプ
Alarm component	アラームを生成した Cisco MobilityManager エリア
Alarm Severity	アラームの重大度
Date	アラームが生成された日付と時刻

関連項目

- [測定情報の表示 \(P.4-4\)](#)
- [測定情報の解釈 \(P.4-5\)](#)
- [ログレベルの設定 \(P.4-7\)](#)

測定情報の表示

Cisco MobilityManager Measurement ウィンドウには、Cisco MobilityManager サーバによって収集された測定情報が表示されます。



(注)

測定カウンタをゼロにリセットするには、**Reset Measurement Counters** をクリックします。

測定統計情報を表示するには、次の手順を実行します。

手順

ステップ 1 **Serviceability > Measurement** を選択します。

Find and List Cisco MobilityManager Measurements ウィンドウが開きます。

ステップ 2 測定情報の名前を検索するために、ドロップダウン リスト ボックスから次のいずれかの基準を選択します。

- begins with
- contains
- ends with
- is exactly
- is empty
- is not empty

ステップ 3 必要に応じて、適切な検索テキストを指定し、**Find** をクリックします。1 ページあたりの表示項目数を指定することもできます。

すべての測定情報を検索するには、検索テキストを入力せずに **Find** をクリックします。

要求した測定情報がウィンドウに表示されます。測定情報は、Measurement Name でアルファベット順にソートされています。

ステップ 4 1 ページあたりに表示されるレコード数を変更するには、Row per Page ドロップダウンリスト ボックスから数字を選択します。

関連項目

- [測定情報の解釈 \(P.4-5\)](#)
- [アラーム情報の表示 \(P.4-2\)](#)
- [ログレベルの設定 \(P.4-7\)](#)

測定情報の解釈

表 4-2 に、使用可能な測定情報の説明を示します。測定情報の表示方法については、P.4-4 の「測定情報の表示」を参照してください。

表 4-2 測定情報カテゴリ

測定情報名	説明
Attempted Calls	試行された発信コールの数
Attempted Mobile Connect Calls	試行された発信コールのうち、ダイヤルトーンが検出されたコールの数
Attempted System Remote Access Calls	リモート デバイスから試行された発信コールの数
Completed Calls	完了したコールの数
Completed System Remote Access Calls	完了したコールのうち、システム リモート アクセスに Mobile Voice Access を使用したコールの数
Desk Answered Calls	デスクの電話が応答したコールの数
Desk to Remote Handoff Calls	リモート デバイスでピックアップされたコールの数
Failed Calls	完了しなかった発信コールの数

表 4-2 測定情報カテゴリ (続き)

測定情報名	説明
Failed Mobile Connect Calls	Mobile Voice Access を使用してシステムリモートアクセスを正常に取得することができなかった発信コールの数
Failed System Remote Access Calls	Mobile Voice Access を使用してシステムリモートアクセスを取得したが、コールが完了しなかった発信コールの数
Handoff Calls	デスクの電話または携帯電話でのピックアップ数
Incoming Calls	完了した着信コールの数
Max Current Calls	同時に実行されるコールの最大数
Max Simultaneous Attempted Calls	同時に処理されるコール試行の最大数
Remote Answered Calls	リモート デバイスでの成功ピックアップ数
Remote Answered Calls Pickup Key	ピックアップ キーを使用して携帯電話でピックアップされたコールの数
Remote to Desk Handoff Calls	デスクの電話で正常にピックアップされたコールの数

関連項目

- [測定情報の表示 \(P.4-4\)](#)
- [アラーム情報の表示 \(P.4-2\)](#)
- [ログレベルの設定 \(P.4-7\)](#)

ログレベルの設定

Cisco MobilityManager and Admin Log Level ウィンドウを使用して、システム ログ ファイルに記録するアラームのタイプを指定できます。デフォルトのログレベルは、情報目的専用です。トラブルシューティング用には、レベルを変更したほうがよい場合があります。

ログレベルを設定するには、次の手順を実行します。

手順

ステップ 1 **Serviceability > Debug** を選択します。

Cisco MobilityManager and Admin Log Level Configuration ウィンドウが開きます。

ステップ 2 ドロップダウン リスト ボックスから、記録する最小アラーム レベルを選択します。ログレベルの説明については、表 4-3 を参照してください。デフォルトのレベルは info です。

ステップ 3 **Save** をクリックし、ロギング基準を変更して新しいレベルを含めます。

表 4-3 ログレベル

レベル	説明
debug	トラブルシューティングでの使用に適したメッセージ、およびそれより高いレベルのメッセージが含まれます。
info	情報メッセージおよびそれより高いレベルのメッセージが含まれます。
warn	運用上の問題がある可能性を警告するメッセージ、およびそれより高いレベルのメッセージが含まれます。
error	エラー メッセージおよびそれより高いレベルのメッセージが含まれます。
fatal	システム障害の原因となったエラー メッセージが含まれます。

関連項目

- [測定情報の表示 \(P.4-4\)](#)
- [アラーム情報の表示 \(P.4-2\)](#)

Cisco MobilityManager サービスのステータスの表示

Cisco MobilityManager Service Status ウィンドウには、Cisco MobilityManager が稼働するために実行される必要のあるサービスの現在のステータスが表示されません。

サービスのステータスを表示するには、**Serviceability > Service Status** を選択します。表 4-4 に、リストされるサービスの説明を示します。各サービスのステータスは **Running** または **Stopped** です。

Cisco MobilityManager サービスが **Stopped** としてリストされている場合、**System Parameters** 画面でそのサービスを再開することができます。

Cisco MobilityManager サービスを再開するには、次の手順を実行します。

手順

-
- ステップ 1** Cisco MobilityManager 管理ウィンドウから、**System > System Parameters** を選択します。System Parameters Configuration ページが開きます。
- ステップ 2** **Restart Cisco MobilityManager** をクリックします。
- ステップ 3** **OK** をクリックして確定します。
-

表 4-4 Cisco MobilityManager サービス

サービス	説明
Cisco MobilityManager	Cisco MobilityManager をサポートするコール処理ソフトウェア
Cisco MobilityManager SNMP	SNMP ネットワーク管理エージェント プロセス
Cisco Discovery Protocol	ネットワーク内のシスコデバイスと Cisco CallManager サーバの検出に使用されるプロセス
Cisco MobilityManager DATABASE	Cisco MobilityManager データベース (IBM IDS) を制御するプロセス